



Newsletter No.120 2015.8.27

ronniandpopoki(at)gmail.com

<http://popoki.cruisejapan.com>

雨の多い夏は、ポーポキが傘の下でのんびり過ごします。
みなさんは、夏の雨の日をどう過ごしますか？



Popoki's Hot News!



COMING SOON!

10.17 平和と健康ワークショップ at 兵庫医療大学！
お待ちしております！



ポーポキのピース・ブック3や『ポーポキ友情物語
～東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅～』！

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、『ポーポキ、
元気って、なに色?』や、ポーポキのほかの本は、お近くの
の本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、神戸
YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。
ご注文、およびご感想をお待ちしています。



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのこばにゃんから届いた平和。

「時に近く時に遠い存在である他者。」

友人あるいは隣人が突如として敵になり、殺し合いが始まる。

これが戦争。大義は時間の経過とともに忘れられるけれど、憎しみと悲しみ
は時間が過ぎ去っても、残り続ける。憎しみと悲しみがない状態こそが平和。
皆が享受できるもの、それが平和。」



あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポーポキのメー
ル [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



NEW! 瀬チャレンジ 2015 のビデオ!!! ポーポキの URL か下記のリンクでどうぞ!

<https://youtu.be/7LcYzZzNQYg> and <https://youtu.be/WYdWwmwogkE>



広島に原爆が投下されてから 70 年も経過しています。ポーポキは、友だちと犠牲になった方々を追悼し、核兵器・放射能の恐ろしさや平和の尊さを考えるために、今年も朝 8:00 に神戸の公園で集まりました。原爆が投下された広島では、階段に座っていた人は消え、影しか残りませんでした。それにならって、私たちは地面に「死んだ」と、チョークで互いの「影」を描きました。また、原爆が投下された 8:15 に黙とうを兼ねてダイ・インをしました。「今、この瞬間に原爆が爆発したら、私たちは…」と考えながら再び地面に「死にました」。原爆は戦

争という文脈の中で投下されたが、それでも人々はそれなりに毎日を過ごしていたのでしょう。原爆によって、なにもかもがいったんにして変わってしまいました。参加者は、「ダイ・インして、いつもより身近に原爆のことを考えることができた。」「今は平和というけれど、そういう戦争の世界に着実に向かっている。」「この日の意味を改めて考えさせられた。」などとふり返りました。

ダイ・インのあと、神戸 YMCA に向かいました。そこで、アメリカのピッツバーグ市を活動拠点にしている **Remembering Hiroshima, Imagining Peace** という団体とスカイプ会議をしました。この取り組みは今年で 5 回目を迎えましたが、今年のはじめて三者会議をしました。というのは、グアム島にいる活動家も参加しました。内容としてはまず、ピッツバーグからは 4 月にニューヨークで開催された NPT 会議の関連イベントに参加したことなど、この一年の活動についての報告のあと、神戸からは安保法制、原発再開、辺野古問題など、日本で直面している問題についてもろにゃんが説明してくれました。そして、グアムの方からは、マリアナ諸島で新しく作る予定の射撃・爆撃訓練場の問題や軍事強化のインパクトなどについての報告がありました。植民地であるため、グアムの人々は反対の声を届ける方法も機会もないということで、ピッツバーグの人々はそれを受けて、議員などに訴えるという新しい動きが生まれた。また、福島第一原発事故の問題について、避難者からの報告にみんなが驚いた様子だった。アメリカで今、話題になっているイランの核問題について聞かれたが、日本やグアムではそれほど大きな問題になっていない、ということがわかりました。今年も学びあうことができて、よかった。ありがとうございました。

ポーポキのミニ平和映画祭〜夏を開催！



8月7日の夕方にポーポキのミニ平和映画祭が神戸 YWCA のホールで開催されました。夏に映画祭を試みるのは初めてです。約 30 名の方々が「グアムって、平和な島？」をテーマに映画とトークを楽しみました。

ピースマシーンに乗ったポーポキが沖縄を訪れる映画のあと、リナ・ホシノ監督の「基地の町に生きる」(2011 年)を観ました。このドキュメンタリーは、米軍基地周辺に住んでいる女性を中心に描かれているが、いくつかのテーマにわかれている。私たちは、「軍事主義・植民地主義」(テキサス州、プエルトリコ、グアム、ハワイ)を観て、どの基地周辺にも有害物質や放射性物質が廃棄されており、汚染によって住民が苦しい思いをしている。また、汚染などについて声を上げようとしても、非独立地域として、米軍や基地に反対であっても、その声をアメリカ政府に聞かせる制度的な方法は与えられていない。



ゲストは、軍事化や軍事主義、米軍基地などが専門のグアム大学のマイケル・ルハン・ベヴァカー先生。映画の後、彼はグアムと北マリアナ諸島の現状について話した。グアムは未だに国連に登録されている非独立地位で、先住民のチャモルは自決権を発揮する機会はまだ与えられていない。島の約 30%を占領している基地による収入はあるものの、そのために環境が破壊され、人々が病気になり、そして土地がどんどん軍事目的にとられる。



質問は、汚染問題や基地問題に集中していたが、ほかに先住民として日本との交流などについての質問もありました。ご周知のとおり、現在、沖縄から米軍海兵隊はグアムに行くことになっています。ベヴァカー先生の話聞いて、はじめて気づく人がいました。ある参加者からは、「グアム島はアメリカの一部だと思っていて、今まではそれについてあまり考えたことがありません。だから、海兵隊が沖縄から出ていくことだけを喜んでいて、グアムにとってのインパクトについては気にしていませんでした。それは間違いでしたね。これからは、グアムのことも真剣に考えたいと思います。」

こういう映画祭ができるのは、神戸 YMCA、神戸 YWCA のみなさんのご協力のおかげです。本当にありがとうございました！



ポーポキ インタビュー*

「原発震災」関東からの避難～Sさんのケース～
インタビュアー：もりにゃん

東日本大震災から 5 年目となる現在でも、福島だけでなく関東圏域からも多くの方々が放射能の影響を心配し避難されています。復興庁によると、兵庫県におよそ 800 名近い方が 3 月時点で避難されています。このことは、あまり知られていないかもしれません。今回は、神戸 YMCA が行っているリフレッシュキャンプで出会った関東から自主避難されている S さんの体験、現状をご紹介します。

「前例のない放射能避難」

○住んでいた場所（現在の住まい）

東京都墨田区（兵庫県北区）

4 歳の長男、10 か月の長女、夫、祖母

放射能の恐れのため、乳幼児家庭に配られた水：東京都から 2 リットル、墨田区から 500 ミリリットルを 1 本ずつ

○震災直後と避難当時の様子

震災直後、旦那様のほうが危険を感じ、窓の目張り、N95 マスク購入（5000 円！）に動き出していた。気が触れたのかと思うほどだったのですが、3 月 15 日昼過ぎに、「東京を出る！」宣言、17 日夜には友人をたよりに初めての神戸にたどり着いた。神戸のネオン、日常を過ごす人々の生活をみて、安堵の涙が出たそうです。十分な荷物もなかったため 3 月 25 日にはいったん東京に戻る予定にしていたが、23 日に葛飾区の金町浄水場で 200 ベクレル以上の汚染報道がなされた。1 日だけ入園式のために東京に戻り、すぐに神戸に再度避難。それでも、このときは連休頃には東京に帰れるだろうと思っていた。連休までのおよそ 1 ヶ月は孤独、慣れない生活、不安、そのつらさを誰にも打ち明けられない日々。まだ寒い北区の 4 月。坂道を離乳食の子どもを連れて出掛ける事ができず、知らない土地で引きこもる生活。朝起きると、布団の周りにナメクジが 20 匹以上はい、はしで捨てる日々。避難は正しかったのか。帰りたい気持ち。家族と離れ離れの生活。つらさを言えないだけでなく、正しい選択だったのかと気持ちが揺れる日々でもあった。

○避難決意

5 月の連休明けに普通に暮らせると思い東京に帰宅。ホットスポットと言われていた三郷公園への親子遠足にも悩んだあげく参加した。幼稚園の遅れを取り戻すためだった。しかし、それから健康に異変が起き始めた。耳と顔が真っ赤に腫れ上がる。目も開けられないほどで毛細血管が全て切れたような痛痒さ、腕と足に毛穴からの出血と発疹。子供は歯茎からの出血、下痢や熱、だるさなど。周りからは気にしすぎではないか、誰も気にしていないよ、という声。こうした状況のなか、再び 8 月に神戸へ避難。このとき、東京は大丈夫であるとい

うことで、神戸市から退去を言われ避難者登録も消されてしまったそうです。再び住宅探しも余儀なくされての避難でした。また、関東からの避難に、共感や理解を示す人はほとんどおらず、神戸であった避難者ママの会の中でさえ、「あなたも福島から？」といわれる状況であった。

避難から1年後に3人目となるお子さんを妊娠。情緒不安定ななか、人知れず毎晩泣いていたり、何もかも捨てて楽になりたいという気持ちもあったそうです。しかし、2013年3月11日、多くの人の運命を変えたこの日を選んで元気に誕生してくれた。

○原発震災の実態

当時4歳の子どもたちは小学生となり、なぜ、大好きなおばあちゃんと離れて暮らさなければならぬのか。なぜ、大好きな幼稚園を離れ、お友達と一緒にいけないのか。大きな戸惑いと理解できない状況から少しずつ整理をつけられているだろうか。子どもたちの健康を懸念する動きは少しずつでも声があがっているが、こうした子どもたちの動揺を家族だけで補うのは大変なことである。避難したことで体は回復しても、心の回復にはとても時間がかかる。リフレッシュキャンプなどに参加することで、少しずつ気持ちも癒されてきているそうです。人の心は人の心が癒すもの、と。

誰もが、日常に戻りたいと願うだろうが、その中においてしっかりと現実を見つめ自主避難を決心した人々の決断はたやすくはない。原発震災のリアルは、避難したからよかったという単純なものではない。自分たちの生活も守れないなかでも、残している親戚、家族、友人らへの複雑な心境も存在する。福島（関東も）は安全というかもしれないが、そこに安心はあるだろうか。また、こうして言葉にすることにも大きな勇気と決心が必要だったに違いない。話してくれる方がいることで、私たちも知ることができる。伝えたいという勇気にも、きちんと応えていきたい。私も、その意味で「当事者」なのだから。

最後に、震災の色、安心の色をSさんに伺った。震災の色は真っ黒。全てにモヤがかかって濁っている。安心の色は薄いピンク。すべてを真っ黒におおわれていた日から、すべてを薄ピンクで優しく包み込める日が来てほしい。



神戸 YMCA リフレッシュキャンプ（2015）

「ねこにもわからない！安倍総理の安保法制」

ポーポキ

その1 前提がわからない！

・日本国憲法は、ほかの国の戦争を無視するとは言っていない。武力でもってかかわらない。確かに戦争の形態は変わってきているし、残虐なことが多いかもしれない。けれど、それでどうして武力が必要になってきたわけ？だからこそ、中立な立場から紛争解決の腕を磨けば良いのでは？ねこの場合、喧嘩しないと言ったら、喧嘩しないね。いくらエサがおいしそうに見えても、わけてくれるまで説得する。



その2 過程がわからない！

・日本は民主主義国家でしょう。つまり、議論するとか、国民の意見を聞くとか、投票するとか、重要な決定に国民の参加が前提でしょう？だったら、どうしてあんなに急いでいるの？どうして押し付けるの？反対と大きな声をあげている国内外の人はどうして「うるさい！」ですむの？しかも、被ばく者の声や空襲を受けた市民の声、精神的なトラウマを今日まで引きずっている兵士の声は聞こえないの？ねこの社会には秩序があるので、決定は段階を踏んでなされる。人間はねこ化すべきかも。



その3 うらづけがわからない！

・政府は憲法学者をはじめ、たくさんの方の意見をうかがった。で……。気に入らない意見が多かったので、聞かないことにした。そういうのって、聞かなくてよいもの？ねこだって、みんなが「ダメ」だといわれたら考えるよ。



その4 だれがだれをどう殺すかがわからない！

・自衛隊は限りなく自衛軍に近くなる。軍隊は人を殺す組織であり、軍人は人を殺すし、殺される。だから自衛隊も人を殺すし、自衛隊員は殺されるだろう。猫も殺されるでしょうね。そして、やがて戦争となり、人を殺したり殺されたりしたい人はあまりいないだろうから徴兵制度が導入される。そのとき、男女平等といって、男の子も女の子も戦場に送り出される？また、多くの「新型戦争」は、武器が安易に手に入るからなおコントロールできない。なのに、日本も武器輸出におけるしほりもゆるくなる。

ねこは相手を傷つけても殺しはしない。人間さま、ねこにみならいなさい！



おまけ…。
安全でも安心でもない、今の状態…。



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 87

今月のテーマは、腰や肩甲骨をストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、立ちましょう。大きく吸いながら、腕もしっぽも上へ！良かったら、少し腰を後ろへ伸ばし、上を見ましょう。
 3. つぎは、息を吐きながら、前屈！
 4. 最後に息を吸いながら手もしっぽも横へ！息を出しながらゆっくりリラックス。
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会：9月24日 19:00～ 神戸YMCA(新神戸OPA2階) 201

10.9 ポーポキ・ポスター at 神戸大学・東北大学・岩手大学シンポジウム

10.17 平和と健康ワークショップ 兵庫医療大学

ポーポキの友だちからのお知らせ

・新刊案内！赤城修司『Fukushima Traces 2011-2013』オシリス 2015年3月20日。

すてきな写真集です。注文などは：

<http://www.shashasha.co/en/book/fukushima-traces-2011-2013/>

又は前田圭子さんへ。m.dodo@h2.dion.ne.jp

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー：<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ！<http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28面）
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21（兵庫・29面）
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19（伝える 1・17 3・11、22面）
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なに色？」の背後にあるもの』（連載）とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ：こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会）No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』『私のいち押し』奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243（関西外大通信）
- 「友情って…考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6（北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」）「新刊紹介：『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」（斎藤雅志）神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8（アジア女性交流・研究フォーラム）
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8 10 面





私にとってのポーポキ

キヨにゃん

ポーポキには、いろいろな気持ちが込められているように感じます。
ポーポキの初めをしらないので、詳しいことはわかりません。

ですが、これ以外にも、楽しい気持ち(定期的に出会えて)、幸せな気持ち(ボランティアで人の役に立てられて)、悲しい気持ち(思ってもみなかったことを経験して)という風に

僕は、今のポーポキに対して、期待の気持ちがたくさんあります。
それは、自分にできることがなにかをもっと考えることができるからです。

そんないろいろな気持ちが込められているポーポキを自分なりに大切にしたいなと思っています。
これからもよろしくお願いします。



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一円 1500 円 何円でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!